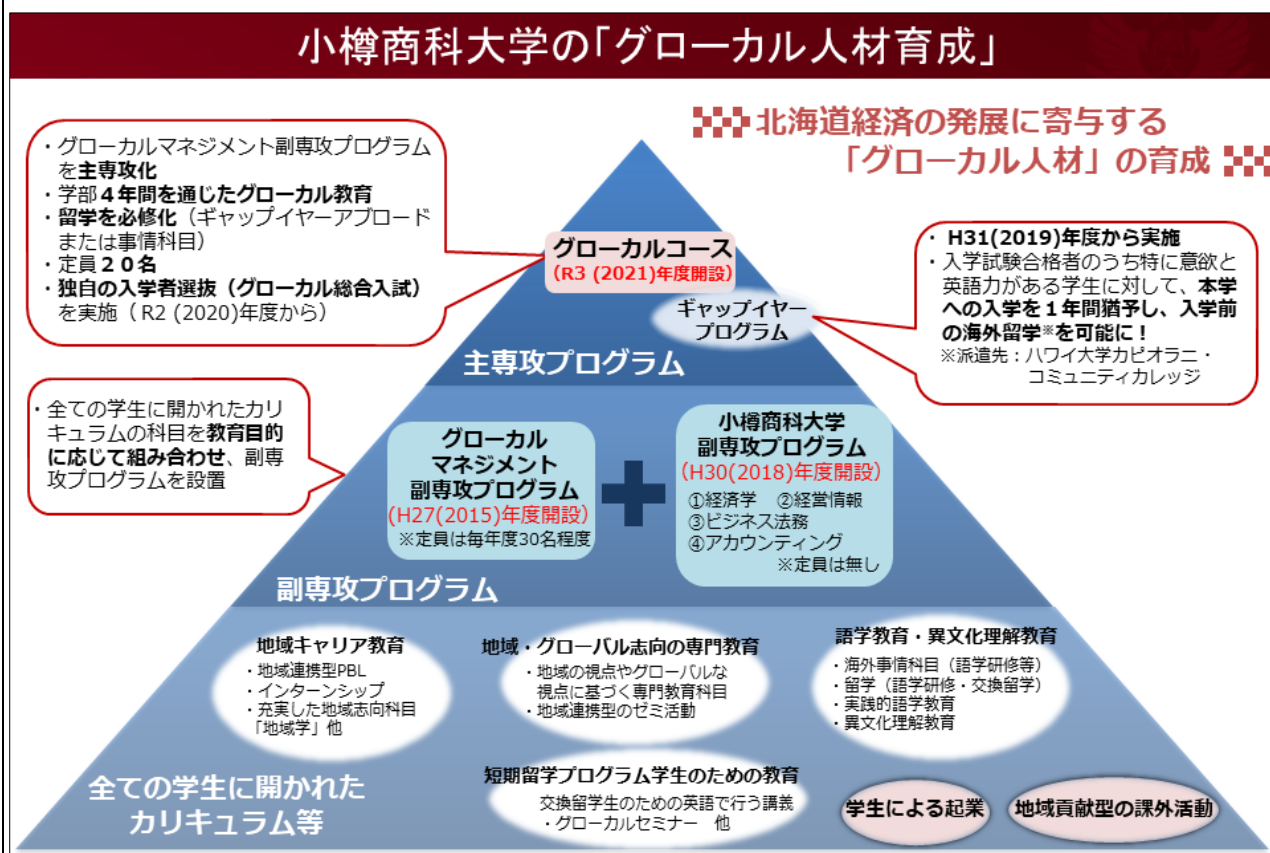


取組実績の概要（2 ページ以内）

本学は平成 27 年 4 月、北海道における人材育成機能及びシンクタンク機能をミッションとした教育研究支援組織「グローバル戦略推進センター」を設置した。本センターを中心とした全学的な教学マネジメントの下で、多様化する地域のニーズに対応できる教育支援体制を整備するとともに、平成 27 年度に導入した「グローバル・マネジメント副専攻プログラム（GMP）」を発展させ、グローバル人材育成機能を強化してきた。

GMP を中心とした教育効果の検証（海外留学の重要性、留学生と共にビジネス・経済を英語で学ぶことによる教育効果、学外学修の教育効果）を踏まえ、GMP を発展させた新たな主専攻コースとして「小樽商科大学グローバルコース」を令和 3 年度から導入することを決定している。

「グローバルコース」は、本学のグローバル教育を象徴する新たな教育課程と位置づけ、クォーター制を導入し、ギャップイヤープログラムを組み込むなど、4 年間を通じた徹底的なグローバル教育を可能としている。この新たな「グローバルコース」は、本事業において加速させた以下の 4 つの取組・改革を盛り込む、グローバル教育の柱となるコースである。



○長期学外学修プログラムの拡大・充実

大学内外での学びの橋渡しの役割を担う長期学外学修として、地域や海外の大学との連携により、「グローバルブリッジ教育プログラム」及び「地域連携ブリッジ教育プログラム」を展開した。「グローバルブリッジ教育プログラム」では、海外研修と本学での事前・事後授業を組み合わせた科目を、「地域連携ブリッジ教育プログラム」では、地域の課題発見・解決に取り組む PBL 型授業、留学生と共に地域ボランティアに取り組むインターンシップ等の科目を新設・体系化し、長期学外学修プログラムを拡大・充実させた。

さらにこれら学外学修科目の実施要領を作成し、科目の特徴に応じた成績評価基準を設け、多くの教員が担当しやすい運用体制を整備した。

○クォーター制の導入

クォーター制の導入に向け、国内外の大学の調査、海外大学の教員を招聘しての FD・SD を実施するとともに、グローバル戦略推進センターグローバル教育部門に専門部会を設置して検討を進め、平成 30 年度から「グローバル教育科目」全体にクォーター制の導入が実現した。

「グローバルコース」の科目編成の基盤となるグローバル教育科目全体をクォーター制で実施することにより、留学やインターンシップといった学外学修に参加しやすい環境を整え、より体系的で教育効果の高

い長期学外学修プログラムの展開を可能とした。なお、クォーター制と Semester 制を並行稼働するにあたり、クォーター制開講科目の実施に合わせた補講・試験の実施などに関して、柔軟に対応した運用を行っている。

○入学猶予制度の構築とギャップイヤープログラムの実施

全国的にも前例のない1年間の入学猶予を行う「ギャップイヤープログラム」の具体的な制度設計を行い、派遣先であるハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジと学生交換協定を締結して、平成30年度に8月から12月までの期間、試行的に1名を派遣した。その検証結果を踏まえ、令和元年度には実際に1名を入学猶予者として本格的なギャップイヤープログラム実施した。ギャップイヤープログラム派遣先の複数化・安定化を図るため、海外提携先教育機関について、協定大学である「マラヤ大学」、「ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学」の関係者と協議を継続することとしている。

○教育効果の可視化・検証

平成28年度に策定したアクティブラーニング教育効果測定の内容及び分析基本ルールをもとに、新入生、長期学外学修プログラム参加者及びGMP所属者を対象にアセスメントテストを継続的に実施した。これらの測定結果に基づき、学外学修参加学生の教育効果の可視化・検証を行い、分析結果は、本事業テーマⅣ採択校合同による書籍において「小樽商科大学における長期学外学修プログラムの教育効果」として寄稿した。さらに本学のグローバル戦略推進センター年報においても成果を公表し地域社会に発信した。

また、令和元年度には教育に関するデータの収集・分析・可視化を行う教学IR室を新設（専任教員1名）し、体制の強化を図るとともに、学生の学修成果を評価するためのアセスメントポリシーを制定した。教学IR室における学生の教育効果の可視化と検証により、各プログラムの持続的な実施と不断の改善に取り組む体制を強化した。

【必須指標の達成度】

	平成27年度 (起点)	令和元年度	
		目標	実績
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合 (グローバルブリッジ教育プログラム) [% (参加学生数/全学生数)]	11.6%	20.0%	13.6%
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合 (地域連携ブリッジ教育プログラム) [% (参加学生数/全学生数)]	10.3%	20.0%	11.0%
長期学外学修プログラムを経た学生の成績評価 (グローバルブリッジ教育プログラム) [卒業時GPA平均]	2.50	2.80	2.65
長期学外学修プログラムを経た学生の成績評価 (グローバルブリッジ教育プログラム) [卒業時TOEFL平均]	520	550	547
長期学外学修プログラムを経た学生の成績評価 (地域連携ブリッジ教育プログラム) [卒業時GPA平均]	2.36	2.80	2.48
退学率 [% (退学者(除籍者を含む)/在籍者数)]	1.4%	1.0%	1.1%
学生の授業外学修時間 [時間数(1週間当たり)(時間)] <※実績値のうち括弧内は全学平均時間>	5.0 (3.0) 時間	18.0 時間	5.7 (5.6) 時間
進路決定の割合 [% ((就職決定者数+進学者数)/卒業生数)]	91.2%	91.4%	94.0%
学生が中心となった起業(学生が企画する活動数)[件(累計)]	3件	10件	9件